映画ツバル５作品の題名と内容（2008/02/28）

１．大人向け・長編・６０分　「　ツバル　大切なものに導かれて　（英語版）Pictures of TUVALU　」
（１）その子がどうしてそれを大切だと思い、絵に描いたのかを探ってゆくストーリー。
（２）地球温暖化と海面上昇に関する、多様な意見が交錯。
（３）沈むだけではない、知られざるツバルの本当の姿。様々なツバルの社会問題が噴出。
（４）全ての英語に日本語字幕、全ての日本語に英語字幕。
（５）物語のナビゲーターとして、山本敏晴（ＮＰＯ法人・宇宙船地球号・事務局長）。
（６）最後に、皆様にできる、６つのことを具体的に紹介。

２．子ども向け・長編・３０分　「　タロファ！ツバル　しずみゆく楽園から学ぶこと　」
（１）地球温暖化で沈むツバルの話が中心。ゴミと水の問題も少々。
（２）若手の落語家が、全編を通して優しく語りかける。
（３）全ての英語が、日本語に吹き替えられているので、字幕を読む必要がない。
（４）最後に、子どもの頃からできる、５つのことを具体的に紹介。

３．大人向け・短編・１５分　「 Thinking about TUVALU Sinking　地球温暖化で沈みゆく国ツバル（短編）」
（１）地球温暖化で沈む、という側面のみを紹介。メッセージが一つだけで、わかりやすい。
（２）全ての英語に日本語字幕。しかし日本語に英語字幕は無い。
（３）短く簡潔。余韻を持たせて終わる流れ。最後に、最も感動するのはこの作品か。
（４）ナビゲーターは、ほぼ登場しない。
（５）最後に皆様にできることの紹介は、無し。

４．子ども向け・短編・８分　「　無題　」
（１）地球温暖化で沈むツバルの話が中心。最も簡潔にまとまっている。
（２）若手の落語家が、全編を通して優しく語りかける
（３）短く簡潔。余韻を持たせて終わる流れ。
（４）全ての英語が、日本語に吹き替えられているので、字幕を読む必要がない。
（５）最後に皆様にできることの紹介は、無し

５．大人向け・試作品・８４分　「 Thinking about TUVALU Sinking　地球温暖化で沈みゆく国ツバル　」
（１）大人向け・長編・６０分の要素をすべて含む。さらに以下の要素たちを含む
（２）映画ツバルは、「成長する映画」であるため、視聴者からの意見を元に改善されていった途中の作品
（３）山本敏晴がなぜお絵描きイベントを行っているかの理由。過去の医療活動にも多少触れている。
（４）お絵描きイベントが行われてる詳細な様子。学校側との交渉、クレヨンの配布、家庭訪問の交渉。
（５）ツバル社会の様々な問題を、さらに追加して紹介。青少年の非行。クラブ（ディスコ）のシーン等。
（６）日本の子どもたちのお絵かきイベントと家庭訪問。二つの日本の小学校の協力による。
（７）長すぎる、メッセージが複数ありすぎる、と不評だった点が、削除される前の試作品。

１．２．３．４．は、コピープロテクトのかかったレンタル用ＤＶＤが、５０枚ずつあります。
（３と４は、同じＤＶＤに同梱されています。）５．は、３枚しかありません。
ツバル上映会の主催をご希望の方は、info@ets-org.jp へ（@を小文字の@へ変えて送って下さいませ。）